



自己紹介

かばしまのうえん

椋島農園

かばしま たかお

椋島 剛士さん（南阿蘇村）

福岡県出身で、大学進学後、登山やクライミングなど自然の中での活動に打ち込む中で、自然と共に生きる暮らしに魅力を感じるようになりました。その後、有機農業に取り組む農家での農業体験を重ねるうちに南阿蘇村を訪れ、地域のご縁に恵まれて平成19年に就農しました。

生産品目

米、卵、じゃがいも、にんじん、キャベツ、だいこん、はくさい、かんしょなど年間約40品目

生産するうえでのこだわり

作物づくりでは、作付ほ場の輪作を基本に、定期的な土壌分析により、土の状態を確認しながら、緑肥や堆肥を使った土づくりを行っています。

養鶏は約250羽を平飼いで飼育し、国産の米や麦、大豆などを自家配合した飼料を与えています。また、鶏ふんを堆肥化して農地に還元するとともに、農場で発生する野菜残さを飼料として有効利用することで、農場内で資源が循環する仕組みづくりに取り組んでいます。



苦労している点

近年の暑さに加え、今年は雨が少なく水不足に悩まされています。特に夏野菜の栽培への影響が大きく、収穫量が減少してしまったので、栽培品目を変更することも検討しています。

消費者の皆さんへ

「顔の見える関係」の中で、生産者と消費者が互いに信頼しながら長く付き合うことを大切にしています。米・野菜・卵を組み合わせ合わせて家庭に届けることで、田舎の親戚や友人のように身近で頼れる農家として、地域の食と暮らしを支えていきたいと考えています。



販売先

主にホームページやSNS（Instagram）での通信販売

HP・SNS

椋島農園

